

JAしまねびより 11

2018

November Vol.32

特集 島根のいいもの再発見!! 「出雲市 ブロッコリー」 出雲地区本部



立久恵峡 (出雲市)

島根には誇れる農産品がたーつくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【出雲市 ブロッコリー】

11月は、出雲地区本部。出雲市平田地区で、ブロッコリーの生産に取り組む、出雲ブロッコリー一部会長、稲田輝夫さんにお話しをお伺いしてきました。



秋冬作のブロッコリーは、赤とんぼが舞うこの時期からいよいよシーズンが始まる。

ブロッコリーの生産を始めたきっかけを教えてください。

私の農地がある平田地区ではブロッコリー栽培が昔から盛んで「かあちゃんブロッコリー」の愛称で親しまれています。旧平田市では古くから、水田の転作野菜として、当時はそれほど有名ではなかったブロッコリーを栽培してきました。お父さんの農業を手伝いながら、お母さん（かあちゃん）が畑の片隅で栽培したのが名前の由来です。手間の割には単価が比較的高かったので栽培する人が徐々に増え、主力の品目となりました。私は春に50a、秋に1・6ha栽培しています。部会は立ち上げて今年で31年目になり、部会員は約70人で面積計58ha、大半が平田地区にあるほか大社や高松地区でも生産しています。

どのように栽培するのですか？

農地は水田だった場所なので地下水が高い位置にあり、根腐れする恐れがあるので、管理機で高うねを作って苗を植えます。品種は全国的に普及している「おはよう」です。種を播（ま）いてから概ね95日で収穫できる品種ですが、暑さ寒さなど天候によって85日から140日と栽培日数には幅があります。大きくなると地面から40cm位の



高うねを作った栽培が、現在この地域での主流となっている。



「おはよう」は技術的に確立されている品種で、発芽率も高く栽培に適している。

所に、ブロッコリーの花芽が集まった頭ができます。頭の直径が12.5〜13.5cm、頭からの長さ16cm位の部分を包丁で切って収穫します。余分な葉や長さを整えた後、そのまま集荷所へ持ち込みます。集荷所では専属のスタッフが花芽の量や形を見極め、3つの規格に分けて箱詰めし出荷します。「かあちゃんブロッコリー」の名称で県内はじめ、関西に出荷。とくに関西では契約栽培が50%余りを占めています。



想像より高い位置にブロッコリーがなることなど、圃場で様々なことを教えていただきました。

大変なことや苦労する点などありますか？

大きさを確認しながら、規格サイズのブロッコリーを一つ一つ包丁で丁寧に切り取る収穫は、時間と体力が必要で、朝2〜3時の暗いなか、帽子に懐中電灯を付けて収穫し、8〜9時ごろまでには集荷所にブロッコリーを運びます。多い時は軽トラックの荷台いっぱいになります。雨や雪が降っても収穫しなければなりません。ただキャベツなど大きく重たい野菜に比べると、軽量なので扱い易いと思います。収穫は大変ですが、同時に皆さんに美味しいブロッコリーを届けられると思うと、一番嬉しいのもやはり収穫する時です。去年は台風が多く定植が遅れたほか病気が発生し、部会全体で約12ha分が収穫できませんでした。契約栽培が多いので規格通りの綺麗な形のものを一定数、継続して出荷しなければなら

ず、品質の維持にはとくに気を遣っています。

かあちゃんブロッコリーの評判はいかがですか？

出雲のブロッコリーは品質に大変こだわっているのですが、他産地のブロッコリーと比べて美味しいと高評をいただいています。花芽がたくさん詰まり、同じ形状で房っているブロッコリーが美味しく、規格も高くなります。規格は、高い順から赤秀、青秀、優と3つあり、出雲の青秀は他産地の赤秀と比べても見劣りしないと市場関係者がうなるほどです。美味しくなるよう、肥料などの土壌管理を徹底し生産者全員が熱意を持って育てています。かあちゃんブロッコリーは柔らかいながらもシャキッとしているブロッコリー独特の食感を十分に味わっていただけたらと思います。茹でて食べるのが一般的ですが、茎を薄くスライスし



土壌管理など日々手塩に掛けて育てることが、市場の評価につながっている。

て金平（きんぴら）で食べても美味しいです。

現状の課題や今後の展望を聞かせてください。

温暖化が進み、気候も変わってきました。違う品種を



現状に満足することなく、様々な変化に対応できるよう品種試験をはじめとした努力は惜しまない。

ブロッコリー —ロメモ

ブロッコリーはアブラナ科の緑黄色野菜で白菜やカリフラワーなどの仲間。ヨーロッパ原産のキャベツの一種を品種改良したもので、ヨーロッパなどでは「1つしか野菜を食べないなら、ブロッコリーを選べ」と言われるほど野菜のなかでも栄養価が高い。ビタミンやミネラル、食物繊維、葉酸など多くの栄養価を含む。なかでもビタミンCは突出しており、ブロッコリーを2、3房食べるだけで1日のビタミンCの必要量を摂取できるといわれるほど。長年、高品質なブロッコリーを出荷している出雲産は、契約栽培が60%に迫る勢いで、市場の評価は極めて高い。

今回ご紹介したブロッコリーに関するお問い合わせは、
JAしまね出雲地区本部
東部営農センター
☎ (0853-62-9059) まで

何十種類と試し将来を見据えて品質を維持できるように、試験栽培を平行して行っています。また、猛暑が続く時期に品質が劣化しないよう製水機を導入し、水を詰めて出荷することも考えています。今後は平田地区の宍道湖西岸地区で国営の農地再編整備事業が実施されます。今の水田だった農地では高うねを築いて栽培しなければならず、10aあ



農地再編により収穫量の増加が見込めるほか、担い手の育成といった未来を見据えた事業も計画されているとか。

たり4,000本前後定植していますが、整備された畑であれば、うねを作る必要がなく約6,000本植えることができます。ほ場の整備が進めば、収量も効率良く増やせます。面積は春作・秋冬作合わせて現在の58haから100haに規模を拡大したい考えで、念願だった出荷額2億円の突破に向けて努力を続けています。



部会長の今後に対する熱い思いがひしひしと感じられるインタビューとなりました。

／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

「販売戦略室」の紹介

JAしまねは、本年3月に「販売戦略室」を立ち上げました。これまで各地区本部単位で販売を行ってきた課題を踏まえ、卸売市場等の規定ルート以外への販売先開拓や商談強化を目的に、(株)JAアグリ島根、JA全農グループ等と連携して次のことに取り組んでいます。

- 販売先情報（取引先要望など）を基に産地へ企画提案
- 新規品目・加工品・希少商品等の新たな販売ルート開拓
- 地区本部連携による販売により、島根県産品の販売強化
- ネット通販の拡充と輸出対策窓口機能の発揮

また、各地区本部からの要望により新規販売先へ値決め販売等の提案商談も実施しています。

立上げからこれまでの取り組みの一部を報告します。

- 銀座三越みのりみのるマルシェでの農産物PR
- 広島駅「みのる食堂」への農産物供給と「みのりカフェ」での加工品販売
- お好み焼き店への食材値決め販売
- 台湾・香港など東南アジアへの果実を中心とした輸出提案



広島駅 みのる食堂、みのりカフェ



銀座三越でのPR



海外でのシャインマスカット販売PR



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

坂本 さやかさん

坂本さやかさんは大田市大代町で水稻栽培、和牛繁殖を基本とした経営を両親とともにしています。

坂本さんは、勤めていた金融機関を退職後、平成29年度より地元農家で農業研修を行い、平成30年4月に新規就農しました。

同町は昔から畜産が盛んな地域でしたが、高齢化により、畜産農家が減少しています。そんな中、坂本さんの就農は地域にとって明るいニュースの一つです。



今年度、JAしまね農業振興支援事業「新規就農者の施設等整備支援」を活用し、牛舎、ビニールハウス建築、繁殖雌牛の導入に取り組み、経営の規模拡大を図っています。



また、ビニールハウスでは、ミニトマトを栽培する予定です。

坂本さんは「父の農業経営を継承し、肉用牛の規模を拡大。また、新たに野菜栽培にも取り組み、複合的で安定した経営を目指したい」と抱負を語りました。



理事会情報 (9月28日開催)

協議事項

- ① 信用事業方法書の一部改正について
- ② 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ③ 自己改革の今後の取り組みについて
- ④ 臨時総代会への附議議案について
- ⑤ 臨時総代会の実施及び地区本部総代説明会の開催について
- ⑥ 臨時総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑦ 「JAの自己改革に関する組合員調査」（本番調査）の実施について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

臨時総代会に関する情報について

平成30年11月8日(木)に開催した臨時総代会に関する情報は、JAしまねびより12月号へ掲載いたしますので予めご了承ください。

雲南

平成最後の新嘗祭に献上 農事組合法人すがやの錦織代表

五穀豊穣に感謝する宮中祭祀「新嘗祭」を11月23日に控え、10月25日には東京都千代田区の皇居で献穀献納式が執り行われました。島根県からは献穀者として選ばれた農事組合法人すがやの錦織満代表（65）をはじめ3人が参列しました。

新嘗祭では、天皇陛下が皇祖はじめ神々に新穀をお供えし、神恩を感謝された後、御自らもお召し上がりになります。宮中恒例祭典の中の最も重要なものとされており、天皇陛下自らご栽培になった新穀もお供えになります。

式の最初に天皇皇后両陛下がお出ましになり、労いと励ましのお言葉を述べられました。錦織さんは「栽培管理に努め1粒1粒丁寧に選別しこの日を迎えた。宮中の門をくぐる際、胸に響く厳粛な雰囲気を感じ、平成最後の献納式に参列できて感無量」と話しました。



献穀米を手にする錦織代表（右）と古居副代表

くにびき

秋晴れの下、ゴルフで交流を深める 第2回くにびき本部長杯ゴルフコンペ開催

くにびき地区本部は10月4日、「第2回JAしまねくにびき地区本部長杯ふれあいゴルフコンペ」を玉造温泉カントリークラブで開催し、西津田の大谷誠さん（56）が優勝に輝きました。

同コンペは、組合員・利用者の健康増進と交流促進を図りながら、JA事業への理解を深めてもらおうと、昨年に続き開催しました。

当日は、20組78名が参加。珍プレーや好プレーもあり、互いに声を掛け合いながら、終始なごやかな雰囲気が進み好成績を収めた大谷さんが、優勝に輝きました。

閉会式で、栗原令本部長は「昨年と違い秋晴れの下でのプレーは、気持ち良かったと思う。今後もこのコンペを続け、ゴルフを通じて交流を深めたい」と話しました。参加者は、「昨年も参加したが、初対面の方と交流を深めることができ良かった。是非、また参加したい」と笑顔で語りました。



栗原本部長（右）からトロフィーを受け取る大谷さん（左）

隠岐

ゲートボール大会を開催

平成30年10月14日（日）、地域住民を対象とした第4回JAしまね隠岐地区本部親善ゲートボール大会を、隠岐の島町総合グラウンドにて開催しました。朝方には雨がぱらつき心配しましたが、大会が始まる頃には晴れ模様となり、無事大会を開催することができました。

例年であれば8チーム前後の参加がありますが、当日は地区の行事と重なったこともあり参加チームが5チーム（選手29名）と、例年より規模が小さい大会となりました。競技では、総当たり戦を行う中、連続4試合を行うチームもあり、熱気あるプレーを展開していました。

この大会は、統合前のJA隠岐当時から開催しており、通算では今回で18回目となる大会です。地域の活性化のために今後とも継続していきたいと思います。



やすぎ

やすぎ恋花まつり 開催

やすぎ花卉部会は9月6・7日の2日間、安来市中海町の道の駅あらエッサで「やすぎ恋花まつり」を開催し、生産者が市内外にやすぎの花をPRしました。

イベントでは、安来産の色とりどりの花を使ったフラワーアレンジメントの無料体験を行い、多くの家族連れで賑わいました。また地元幼稚園・保育園児が描いた花の絵と5日に開催された「やすぎの花」品評会の花の展示、消費者による品評会の花人気投票など、華やかな会場に大勢の人が訪れました。アレンジメント体験に参加した子どもは「アレンジメントができて楽しかったです」と話しました。

同部会の部会員は「安来は古くからの花の産地で、今はベテランから若手の農家が多種多様な花を栽培しています。こういった花と人が直接ふれあうイベントを通して、花を日常に取り入れていただければと思います」と話しました。



「米米（まいまい）田んぼ」で収穫作業

10月2日、出雲市とJAしまね斐川地区本部は、食農教育活動の一環として、荘原小学校と中部小学校の5年生117名を対象に、農事組合法人 上直江ファームが管理する学校給食米専用田「米米（まいまい）田んぼ」で、児童たちが5月に植えた「きめむすめ」の稲刈り体験学習を行いました。児童たちは、鎌の使い方を教わり、2人1組で稲刈りと稲の結束作業を行いました。圃場へ入ると夢中で作業する児童や、「腰が痛い!」と作業の大変さをあらわにする児童も見受けられました。作業を終えると児童代表が「このような大変な作業があってお米ができるのを知りました。感謝して残さず食べます。」と体験により感じたことを述べ、農業現場の苦労や、農業が自分たちの食を支えていることを学びました。



役割分担しての作業風景

3地区本部女性部合同研修会／石見銀山遺跡研修会

出雲、斐川、石見銀山地区本部の3地区本部女性部は10月1日、合同研修会を開催し、97名が参加しました。

ホスト組織であるJAしまね石見銀山女性部の森脇岸江部長は「今年も島根県中部の女性部が集まり、一緒に活動することができて嬉しく思う。石見銀山には、まだみなさんの知らない魅力が沢山あるので、楽しんで町並みを散策して欲しい」と語りました。

この研修会は、各地の魅力を新たに発見するだけでなく、3地区の女性部が活動をともにすることによって、組織の垣根を越えた仲間作りのきっかけにもなっています。

当日は、観光客を案内する石見銀山ガイドも協力し、武家屋敷や城上神社等を案内しました。

石見銀山最盛期中世の面影を色濃く残す町並みを参加者は和気あいあいと散策しました。

その他にも、希望した参加者は一般公開されている坑道「龍源寺間歩」を訪れ、ガイドの話に耳を傾けながら、石見銀山が作ってきた歴史を学びました。



ガイドの話に耳を傾ける参加者

自転車交通安全教室開催

9月21日、西ノ島支店管内西ノ島小学校・中学校の校庭で、浦郷警察署とJA共済連島根の協力の下、自転車交通安全教室を開催しました。

この教室は中学生・高校生を対象に、プロのスタントマンらが危険自転車走行による自転車事故の再現実演を実施し、事故の怖さを目に訴えることで交通安全の重要性を説くことを目的としています。今回は、一昨年校舎の老朽化・耐震問題により小中一体校舎となったことから、自転車を利用する幅広い年齢層の交通安全意識を高める機会にしてもらおうと、小学校高学年以上を対象として開催しました。スタントマンが車にはねられ宙を舞うと、参加者から大きなよめきが起こり、交通ルールを守る大切さを改めて実感することができました。小学生には多少ショックが強かった場面もありますが、大変有意義な交通安全教室となりました。齋藤浦郷警察署長からは子供の頃の実体験をお話いただき、また同校の山中慎嗣校長先生から「実演を含め参加者に交通ルールの大切さを実感させることができました。」と感謝の言葉をいただきました。



今年も直売所がオープン JAしまね出雲平田柿部会

JAしまね出雲平田柿部会が特産「ひらたの柿」を販売する直売所が、今年も10月12日にオープンしました。同直売所では、昨年からの新規顧客の開拓をねらいネット販売も行っています。

直売所では、選果場から直送される旬の柿を販売しています。「伊豆」が10月下旬頃、「西条」の合わせ柿は11月10日頃まで販売され、現在は甘柿「富有」が最盛期を迎えています。11月下旬からは高品質な冷蔵品「柿三昧（干柿、西条、富有の詰め合わせ）」の注文も受け付けます。「あんぼ柿」「柿の葉茶」などの加工品も販売し、12月下旬まで営業します。

営業時間は毎日午前10時～午後4時まで。期間中は休まず営業します。問い合わせはJAしまね出雲ひらたの柿直売所、(電) 0853 (62) 2960 (ファックスも) まで。



平田野菜集荷所の一角で営業

西いわみ

高津川一斉清掃に参加しました

JAしまね西いわみ地区本部は10月14日、高津川の一斉清掃活動に参加しました。高津川一斉清掃活動は、高津川流域の住民団体の一つである高津地区連合自治会が2012年から始めたもので今回が7回目です。

同地区本部の管内を流れる代表的な河川として、流域の農業や生活に深く関わっていることから、環境美化や地域貢献活動の一環として毎年参加しています。

当日は益田市内の企業や学校、団体、行政から22団体が参加し、川の両岸に分かれて高津川下流域の一部約2キロの河川敷を一斉に清掃し、ゴミや空き缶などを拾い集めました。参加したJA職員の一人は「今年は高津川が映画の舞台に選ばれたと聞き誇らしく思う。大切な高津川をこれからもきれいにしていきたい」と感想を述べました。



本店

7月豪雨被災地へ義援金贈呈

JAグループ島根は10月9日と11日に、今年7月の西日本豪雨で特に被害が大きかった県内の地域に義援金を贈呈しました。復旧・復興の支援に役立ててもらおうと、役職員や関連団体からの募金で集まった300万円を、邑智郡美郷町と川本町、江津市へ贈りました。

9日にはJA島根中央会の竹下正幸会長やJAしまね島根おおち地区本部の日高光弘本部長らが、JAグループ島根を代表して美郷町役場を訪ねました。竹下会長は同町の岸本建夫副町長に「JAグループとして、少しでも支援できれば幸い。町民の皆様のため、お役立てください」と目録を手渡し、受け取った岸本副町長からは「この度の水害では農地の被害が大きく、町として復旧支援にあっている。今回の義援金を有効活用したい」とのお言葉をいただきました。

JAグループ島根は1日でも早い復旧に向け、引き続き支援に取り組んでまいります。



島根おおち

畜産課で地元高校生が職場体験

10月9日（火）～12日（金）までの4日間、地元矢上高校産業技術課の2年生3名がJAしまね島根おおち地区本部畜産課にて職場体験を行いました。この職場体験は授業の一環として、産業現場での知識や技能の習得、職場マナーや勤労の大切さを学ぶとともに、将来の進路を考える参考にするための実体験を目的に行われています。

参加した生徒は、当地区本部の肥育センターで、えさやり、飼料配合、畜舎の清掃、牛の体調管理といった作業を体験し、また管内畜産農家へ訪問を行い見学や作業体験を行いました。

職場体験をした生徒は「楽しく職場体験をすることができました。最終日に牛の出産に立ち会えたことがとても印象的で、本当に貴重な体験になりました。将来は牛に係わる仕事に就きたいです。」と話していました。



いわみ中央

浜田のトマトを全国に!!

浜田市金城町の大規模農業団地「元谷団地」で、TC浜田農場（野村利彦社長）の大玉トマト初出荷式が開かれました。同農場は、平成29年より大型ハウスを建設し桃太郎トマトの栽培に取り組んでいて、このたび最初の収穫期を迎えました。この大型ハウスは、島根県内有数の規模で、溶液栽培システムにより、市場で大玉トマトが品薄となる時期の9月から翌年2月までを含め、長く出荷できることが特徴です。来賓あいさつで、浜田市の久保田章市市長は「トマト農場は、周年栽培ができる。地域での販売と同時に全国にも販売していただき、浜田をトマトの一大産地に育て上げてほしい。従業員の雇用確保の面でも感謝する」と話されました。出荷先は、県内や山口県、和歌山県などで、大手スーパーとの取引を見込んでいます。初出荷式では関係者約50名が試食し、段ボール詰めされたケースを野村社長が運転手に手渡し、トラックを見送りました。



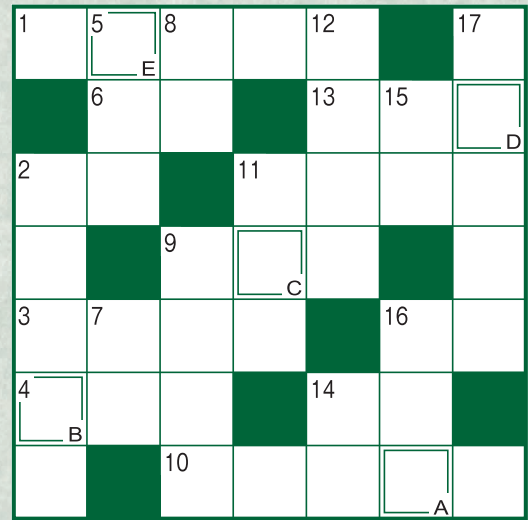
タテのカギ

- ②磐梯山の南側にある——湖
- ⑤タマチシャとも呼ばれる野菜
- ⑦建物の壁を覆うこともある植物
- ⑧悪の反対語
- ⑨歳末大売り出しの——で2等が当たった
- ⑪陰暦12月の異称
- ⑫自動車の荷物を入れるところ
- ⑭洗濯物をぶら下げます
- ⑯棋士が打つもの
- ⑰腰に巻いてバックルで留めます
- ⑱賛成する人が多い意見を採用すること

ヨコのカギ

- ①サンタさんが靴下に入れてくれるかも
- ②腰を掛ける家具
- ③自動車を洗ってからかけます
- ④ブームが去った状態です
- ⑥牛や豚などの舌の肉
- ⑨15歳が志学、30歳が而立(じりつ)なら40歳は
- ⑩肉や魚を裁断したときに出る余りのところ
- ⑪赤——だから青になるまで待とう
- ⑬カレー—— ハヤシ——
- ⑭地獄谷にいるものは温泉に入ります
- ⑰それとこれとは話が——だよ

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年12月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「パンシユウ」



お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

ウォーキングのススメ

スポーツの秋ですが、みなさん体は動かしていますか？ウォーキングは誰でも簡単にできる有酸素運動です。過ごしやすい季節、ウォーキングに挑戦してみませんか？

ウォーキングの一番の良さはいつでもどこでもお金をかけずにできるところです。また、激しい運動ではないので、性別・年齢問わずに誰でも始められます。ウォーキングの効果は筋肉を動かすことだけでなく、足から脳への刺激、景色や音を感じることも、五感の刺激にもなりといわれています。では、どんな歩き方がいいのか。ウォーキングのポイントをご紹介します。

1. 体全体でリズムカルに歩く。（歩幅はいつもより少し広く歩き、腕を前ではなく後ろに振るようにし、少し息が弾む程度の速度で行うと効果的です。）
2. 視線は上げ、あごは引きます。背中を伸ばし、姿勢よく歩く。（姿勢を正すことで、腰や膝への負担が軽減します。）
3. 膝は伸ばし、つま先を蹴り上げるように進む。（足の裏全体で地面を捉えることが大事です。そうすることでお尻から太ももの裏側にかけての筋肉がしっかり動くようになります。）

以上のポイントに気をつけながら歩くことで、効果もガンとアップします。

いつ行ってもよいですが、食後30分以上は空けてからにしましょう。食べ物の消化吸収に負担がかかりません。また、ウォーキングシューズも大切です。紐で結べるもの、つま先に1センチ程度は余裕があり窮屈ではないサイズ、土踏まずがピタリとフィットしたもの、靴底にある程度の厚みのあるもの、などを選ぶと良いです。健康効果を望むなら1日10分からでも効果があり、美容効果を望むなら1日30分から行うとより効果的です。自分に合ったやり方で、ぜひこの秋の運動にいかがでしょうか。

地元産のうまいものがごっさり！

農林水産祭開催

松江市農林水産祭（同祭実行委員会主催）が10月28日、松江総合運動公園中央広場で開催され、地元豊かな旬の産物を求め集まった約35,000人の来場者で賑わいました。同祭は、豊かな実りの秋を生産者、消費者がともに祝おうと例年開催。

開会式では、星野芳伸松江副市長が「松江が誇る収穫祭を楽しんでほしい」と挨拶して開幕。オープニングではステージから盛大にもちがまかれ、菌体肥料や椿の苗木の無料配布、米のすくい取りには長蛇の列ができました。

会場では、農林漁業の各団体や生産者の店が並び、野菜や果樹、花卉のほか、干物や佃煮などの水産加工品などが販売。くにびき青年連盟は和牛串と焼きおにぎりを販売し、くにびき女性部も芋だんご汁やコーヒィ、手作りクッキーを販売しました。市内在住の男性は「野菜価格の高騰が続くなか、新鮮な野菜が安く手に入ったのでよかったです。椿の苗木も上手に管理したい」と笑顔で話しました。



女性部の芋だんご汁も大好評！



星野副市長も米のすくい取りに参加



牛串、焼おにぎりを販売する青年連盟



開会式でのもちまき

くにびき管内から 優良牛が県共進会で品質競う！

JAしまねは10月20日、宍道町の島根県中央家畜市場で「平成30年度島根県種畜共進会」を開催しました。

当日は、県内から肉用種牛46頭と乳用種牛32頭が勢揃いし品質を競いました。当地区管内からは、9月21日に開催された「くにびき畜産共進会」において肉用種牛の部で特等賞主席、特等賞次席に選ばれた東持田町の藤原薫さんと宍道町の永江徹さんが出品しました。

肉用種牛と乳用種牛が、順番に会場へ立ち並ぶと審査員は、月齢に応じた発育状態や資質、全体のバランスなどを審査しました。審査員は「全体的に体積があり、改良の参考になる牛も多くいた」と評価しました。



藤原さんと「ふくよし」号



永江さんと「かねざくら」号

くにびき管内の出品者の結果は次の通りです。

- 肉用種牛の部
第3区 優良賞＝藤原 薫（東持田町）
優良賞＝永江 徹（宍道町）

（敬称略）



農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り

地産地消を推進
「つや姫」を地元でもPR!



くにびき地区本部は10月21日、黒田町のスーパーマーケット「マルマン」で、地元産「つや姫」の試食販売を行いました。「つや姫」はコシヒカリと比較し1等米比率が高く、当地区本部でも、生産者へ品種転換を推奨しています。昨年食味ランキング「特A」評価を獲得した「つや姫」の知名度向上を目指し、6月に引き続き実施しました。

当日は、山根敏行米穀畜産課長をはじめ4名の職員が、対面販売で「つや姫」のおいしさをアピール。購入者には箸やラップなどの粗品を配布しました。この日は5キロ27袋、10キロ7袋を販売。

「このごはんとても、おいしい」と笑顔で話しました。お母さんはそれを見て、購入を決めている様子でした。また、近所に住む加藤紀子さん(45)は、「つや姫」という商品名は知っていたが、食べるのは初めて。美味しかったので、今後も購入したい」と話しました。



試食後購入した親子

島根産「きぬむすめ」の消費拡大へ!
阪神米穀株式会社と販売契約締結



阪神米穀株式会社と契約を締結

J Aしまねは10月1日、30年産「きぬむすめ」の有利販売と消費拡大に向けて、米卸業者の阪神米穀株式会社(兵庫県西宮市)と販売契約を取り交わしました。

J Aしまねでは、米卸業者から引き合いの強い、「きぬむすめ」の生産拡大に向けて取り組んでおり、当地区本部でも、品種転換を薦めてきた結果、出荷予約数量が増加しました。全国展開している飲食店にも米を納入している同社は、以前よりくにびき産米を取り扱っていましたが、出荷予約数量が増えた今年は、全体の約半分をくにびき産で契約しました。

当日は、栗原令本部長、山根敏行米穀畜産課長のほか、本店米穀園芸部の職員2名と同社を訪問し、契約を締結しました。栗原本部長は「30年産きぬむすめの生産拡大に取り組んできたことで、出荷数量が増え、販売拡大することにより新たな展開ができた」と感じている。継続的な取引となるよう生産地として努力していきたい」と意気込みを語りました。

12万袋目標

平成30年産米集荷状況

平成30年10月30日現在

一袋でも多く出荷いただきますようお願いいたします。

(単位:袋・%)

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	
			1等	2等	3等			
うるち	ハナエチゼン	10,516	9,014	2,218	5,646	1,150	29.3%	85.72%
	コシヒカリ	35,185	30,307	3,152	15,535	8,267	11.7%	86.14%
	きぬむすめ	44,243	37,368	14,877	17,526	2,185	43.0%	84.46%
	つや姫	20,964	24,608	16,250	4,830	410	75.6%	117.38%
	その他	132	135	62	73	0	45.9%	102.27%
うるち計	111,040	101,432	36,559	43,610	12,012	40.3%	91.35%	
もち	1,532	914	0	636	278	0.0%	59.66%	
合計	112,572	102,346	36,559	44,246	12,290	39.9%	90.92%	

※各品種の「しじみ米」は品種数量に含まれています。※1等米比率には、カントリーエレベーターの受入数量は含んでおりません。

	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	目標数量	集荷袋数	目標数量対比
			1等	2等	3等					
加工用米	1,210	1,195	171	974	50	14.3%	98.76%	120,000	99,355	82.80%

くにびき地区本部情報

松江の特産をお届け！ 西条柿の出荷始まる

秋の味覚、特産西条柿「こづち」の選果が10月2日から、くにびき地区本部本庄選果場で始まりました。10月5日に集まった西条柿は約2トン。形や大きさ、色などの確認をした後、選果機を稼働。等級ごとに選別し、渋抜き用のドライアイスと一緒に箱詰めして、広島市場や松江合同青果、松江連合青果などに向け出荷しました。

営農指導課の犬山浩二係長は「夏の少雨により小玉傾向ではあるが、甘くておいしい柿に仕上がっている。生産者が丹精込めて作った柿なので、是非味わって欲しい」とPRしました。今年度は、県内市場を中心に30トンの出荷を予定しています。

また、当日は本庄地区の生産者や「道の駅本庄」の関係者が選果場を訪れ、選果基準や梱包方法、発送までの流れについて説明を受けました。

枕木町で柿を生産している松本博さん(77)は「夏は暑い日が続き苦労したが、良い柿ができた。ドライアイスの量や梱包方法などが聞いて勉強になった」と話しました。



一つ一つ丁寧に作業を行う



選果基準を説明する犬山係長(右から3人目)

「島根の花」品評会開催 門脇亮さんが組合長賞を受賞！



JAしまねと島根県花き生産者協議会(原要吉会長)は、10月20日・21日の両日、松江イングリッシュガーデンで「平成30年度島根の花品評会」を開催し、輪菊「精の一世」を出品した松江市鹿島町の門脇亮さん(26)が、島根県農業協同組合組合長賞を受賞しました。

同品評会は、花き栽培と商品化技術の向上などを目的に「フラワーインシマネ」に併せて毎年開催。今年度はシクラメンやトルコギキョウ、菊など合計122点が出品され、ポリウムや全体のバランス、品種固有の特性などを審査しました。審査員は「災害や猛暑などがあったが、昨年並み(平成29年度128点)の出品があり、生産者の技術の向上がうかがえた」と講評しました。

平成27年と29年に農林水産大臣賞を受賞している門脇さんは「今年の夏は猛暑で管理に苦労したが、受賞することができてよかったです。今後とも島根の花をPRしていきたい」と受賞の喜びと今後の意気込みを語りました。



受賞した門脇さん

窓口ロールプレイング 大会開催 職員の接客対応を競う



窓口での対応を披露

くにびき地区本部は10月23日、店頭窓口での接客対応を競う「窓口セールスロールプレイング大会」を開催しました。大会は、職員のスキルアップなどを目的に開催しており、9名の職員が3チームに分かれて参加し、日頃の業務と練習で培った接客技術を披露しました。

出場者は、競技時間7分間で「JAネットバンク」「JAカード(一体型)」「キャンペーン商品」などの案内を主体に、窓口の様子を再現。来店者役に、チラシを使い分かりやすく商品を説明するなど高い接客能力を見せました。

役員ら12名による審査では、「基本応対」「セールス」「クロージング」などの要素を評価した結果、古江、法吉、鹿島支店チームが最優秀賞に選ばれました。鹿島支店の福島梨紗職員は「審査されることに緊張し、限られた時間内に商品を案内できるか心配だった。普段どおりの窓口対応ができたことが、最優秀賞という形になり良かった」と話しました。

最優秀賞を受賞したチームは、12月8日に開催される「JAしまね窓口セールスロールプレイング大会」に出場します。

地域活性化に向けた食農教育に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

収穫の「秋」を満喫！

「ふれあい親子 いもほり大会」

くにびき地区本部は10月7日、東出雲町中海千拓地の圃場で、「第29回ふれあい親子いもほり大会」を開催しました。参加者は、丸々と実った芋を掘りながら、収穫の秋を楽しみました。

親子で土に触れ、農業の魅力に理解を深めてもらうと、同地区本部とくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）が主催。6月に青年連盟とくにびき女性部（中島和子部長）と一緒に植え付けた苗約4千本が大きなサツマイモ（ベニアズマ）になりました。

当日は台風の影響が心配されましたが、60組、194名の家族が参加。

開会式では、越野浩昭企画総務部長が、「家族で農業の魅力や収穫の喜びを感じ、思い出に残る一日にしてほしい」と挨拶しました。その後、圃場に移動し野津委員長の合図で、一斉に芋掘りをスタート。100メートルの畝に並び、芋の葉をかき分けながら、懸命に芋を探しました。参加者は予想以上に大きな芋が現れると、歓声を上げていました。中には、飛び出してきた虫を追いかける子どもや、芋の茎を不思議そうに眺める子どもなど、楽しく自然を堪能していました。



大きな芋に笑顔！



芋掘りを楽しむ子どもたち

参加した藤原宏太くん（11）は「家族と協力して大きい芋が採れてよかった。来年も参加したい」と笑顔で話しました。

「ジャンボ芋コンテスト」の企画もあり、参加者は楽しいひと時を過ごしました。



ジャンボ芋コンテスト入賞者
1位に輝いた多々納奈留さん（左から2人目）
記録1.7kg

くにびき青年連盟 育英北幼稚園年長が 稲刈り体験

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は10月12日、農業の魅力や園児たちに知ってもらうと、育英北幼稚園つき組（年長クラス）と「きぬむすめ」の稲刈り体験を行いました。6月の田植えに続き、稲を刈りながら収穫の苦労と喜びを体感しました。

当日は、くにびき地区本部本店の北側に位置する7アールの田んぼに、園児19名が集合。盟友7名が参加し、稲の刈り方について「地面から10センチくらいのところから切るんだよ」と、実際に鎌で稲を刈り取りながら、分かりやすく説明しました。

早速園児たちは、鎌を手にして稲刈りを開始。初めは保護者や先生と一緒に刈っていましたが、慣れてくるとひとりでも挑戦。刈った稲は、盟友がよりで縛り園児たちが体全身を使って大きな束を運び、はでに掛ける作業も体験しました。一連の収穫作業を終えた後、コンバインでの稲刈りを見学。初めて見るコンバインでの刈り取りに園児は大喜びでした。

その後、園児たちの「台風でも稲が倒れなかったのはなんで」「刈り取ったお米以外の部分はどうするの」などの疑問に盟友が分かりやすく回答していました。

石倉孔輝くん（6）は「初めての稲刈りだったけど上手に刈ることができた。コンバインもかっこよかった」と笑顔で話しました。



稲刈りを前に意気込む園児たち



一緒にでは干し



組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



くにびき地区本部情報

はつちぷりーで親睦深める！ 年金友の会プロウンドゴルフ大会開催！

くにびき地区本部は10月26日、「年金友の会プロウンドゴルフ大会」を、東長江町の松江市ニユースポーツ公園で開催し、玉湯Cチームと牡丹チーム（八東）が優勝に輝きました。

くにびき年金友の会（三島武会長）では、スポーツを通じて健康増進、会員の交流を図るため毎年開催しており、今年で15回目となります。各支部から32チーム、合計160名が出場。

16ホールを回り、日々の練習で培った技術を競いました。

開会式では、三島会長が「最後まで勝負が分らないスポーツなので、諦めず粘り強くプレーしてほしい」と挨拶し、板持美智子さん（東出雲Bチーム）が力強く選手宣誓を行いました。また、高齢参加者表彰として、90歳の小早川富夫さん（八雲Bチーム）をはじめ、6名に記念品を贈呈しました。

その後、ホールに分かれて試合を開始。参加者は優勝を目指して、声を掛け合いながら回り、秋晴れの空の下で汗を流しました。

足立郁治さん（玉湯Cチーム）は「途中スコアが崩れてしまったが、何とか持ちこたえて優勝できた。大勢でプレーでき、楽しかった」と笑顔で話しました。

練習の成果を発揮！



試合結果 (敬称略)

コース	ACコース	BDコース
団体の部	優勝 玉湯C	牡丹
	準優勝 玉湯A	美保関A
	第3位 八雲A	東出雲A
個人の部	優勝 杉原 輝男 (玉湯C)	岩田 正成 (牡丹)
	準優勝 石原 道子 (玉湯A)	松本 優 (美保関A)
	第3位 深田 邦子 (松江南D)	福田 素文 (松江北C)

自身を磨き、輝く女性に サンサン女子大第6期スタート！

くにびき地区本部は10月30日、営農総合センターで第6期「J・Aしまねくにびき女性大学」(愛称・サンサン女子大)の入学式を挙行し、6期生23名と大学院生29名の合計52名が入学しました。

同女子大は、市内に在住もしくは勤務されている女性を対象に平成20年10月より2年一期として開校。松江市在住もしくは勤務されている女性を対象に山陰中央新報社文化センターと協力し、食と農を基軸として料理や健康、文化などさまざまなテーマで2年間にわたり、「女子力アップ」と相互交流や農業、J・A理解を目的に開講します。

入学式では、学長の栗原令本部長が「様々な講座を通じて自身を磨き、仲間とともに新しい感動を発見していただきたい」と挨拶。続いて6期生を代表して安部史子さんが「多彩な講座があり、これからどのような経験ができるのか、今からワクワクしている。親睦を深め、相談し合える仲間を作りたい」と初心を述べました。

式後の初講座では、副学長の越野浩昭企画総務部長が講師となり、寸劇を交えてJ・A基礎講座を開講。学生たちは、協同組合の成り立ちやJ・Aしまねの概況、管内の農業情勢などについて学びました。



JA基礎講座を受講する参加者



所信を述べる安部さん

くにびき女性部趣味グループ ハーブの寄せ植え講座を開催！

くにびき女性部趣味グループは10月10日、「ハーブの寄せ植え講座」を教育文化センターSan・san館で開催しました。

今回は定員を超える応募があり、予定を変更し午前と午後の部の2回に分けて開催。総勢58名の部員が参加し、ハーブについて学んだ後、鉢に5種類のハーブを植え付けました。



当日は、J・Aグリーンかわつの職員2名が講師となり、植え付ける5種類のハーブの特長や管理の仕方について解説しました。その後、軒下に移動し寄せ植えを開始。各自の鉢に根腐れを防ぐための鉢底石を敷き、土を入れ、ローズマリー、ワイルドストロベリーなど5種類のハーブを丁寧に植え付けました。

参加した部員は「自分の思い通りに植えることができ楽しかった。枯れないように大切に管理したい」「上手に育てて料理に使い、香りを楽しみたい」と、笑顔で話しました。



完成したハーブの寄せ植え

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



芋づるのきんぴら

サツマイモを育てて収穫した後は捨てられる芋づるですが、栄養価が高く健康にも良い食べ物ですので、手に入ったらぜひ味わってみましょう。

昔、食べ物がない頃には食べていたということですが、素朴でクセのない芋づるはふるさとの味。シンプルなきんぴらはお弁当やお酒のお供に最高です。

【材 料】(4人分)

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・芋づる……………200 g | ・ニンジン……………40 g |
| ・薄口しょうゆ……大さじ1と1/3 | ・砂糖……………小さじ1 |
| ・みりん……………小さじ2 | ・酒……………大さじ1 |
| ・ごま油……………大さじ1 | ・白ごま……………少々 |

【作り方】

- ①芋づるの皮をむく。(端から5 cm位に折り、引くときれいにむけます)
- ②10分程度水にさらしてアクをとる。
- ③ニンジンは細切りにする。
- ④鍋にごま油をひいてニンジンを炒め、火が通ったら芋づるを加え炒める。
- ⑤芋づるがしんなりしてきたら調味料を加え水気がなくなるまで煮詰める。
- ⑥白ごまをふって出来上がり。

今月の料理人

八雲支部

三好由紀子 さん (右)

長島 和子 さん (左)



芋づるは太いものの方がシャキシャキとした歯ごたえがあります。皮むきが面倒な方は、熱湯にさっとくぐらせ、水につけてから炒めましょう。具はニンジン以外に竹輪や薄揚げ、ピーマンなどを入れても美味しいです。お好みで唐辛子を加えピリ辛でどうぞ。



参加者募集!

サン●サン 料理教室

日時

2018年12月18日(火) 10:00~13:00

※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部
San・san館

松江市西川津町1635-2

「玉湯町大谷そば打ち名人」細田純夫氏(元JAくにびき理事)を講師に、松江で実った玄丹そばで「出雲そば」を皆で打ちましょう。組合員、利用者、松江市民を対象に参加者を募集します。(男性大歓迎!)



12月のメニュー

松江で実った玄丹そばで「出雲そば」を打ちましょう

女性部特製! 五目ごはんを添えて

★手打ちそば ★五目ごはん ★お土産付き

(メニューは都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 20名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,500円(当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成30年12月7日(金)

お申込み/お問合せ

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: (0852) 55-3018 FAX: (0852) 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

職員中途採用(正職員)募集

専門職

高等学校卒業以上で昭和57年12月2日以降に生まれた方で、葬祭業務の有資格者または経験者

- | | |
|---------|--|
| 1. 待遇 | 当組合規定による |
| 2. 応募方法 | 下記書類を郵送又は持参。封筒の裏に「職員採用選考書類」と明記のこと
①自筆履歴書(写真添付・希望職種明記) ②卒業証明書
③各種資格・免許証の写し ④受験票添付用写真1枚(縦4cm×横3cm) |
| 3. 選考方法 | 筆記試験・面接試験 |
| 4. 試験日 | 平成31年1月中旬 |
| 5. 募集期間 | 平成30年11月1日～12月25日 |
| 6. その他 | 葬祭センター施行担当職員、福祉センターサン・エールたまゆ介護担当の臨時職員も随時応募を受け付けています。 |

◆応募書類送付・お問い合わせ◆

くびき地区本部 人事課 TEL: 0852-55-3013 FAX: 0852-32-6870

組合員加入促進運動実施中

お申込み・お問い合わせは
各支店・ふれあい店・総務課まで



若槻裕子さんも加入されました!

～人の心に寄り添う事をモットーに～
司会、アナウンスのお仕事をしています。
放送局のキャスターを経て声の仕事で約30年、平成時代を走り続け新しい時代へ向かっています。婚礼、イベント司会、CMや番組ナレーションから話し方講習、婚活イベントのプロデュースまでいたします。信頼と実績、進化をする司会者へ是非 お声かけください。

今月の特選車

ダイハツ ミライース

(年式) 平成25年式
(走行) 47,000km
(車体色) シルバー
AT 2WD
(車検) 平成32年9月
(車両本体価格)
430,000円(税込)
(諸費用別途)



※すでに売却済みの場合は
ご容赦下さい。

お問い合わせは
自動車センター TEL: 0852-55-3077

おさいふカードポイント 有効期限のお知らせ

平成28年に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限は平成30年12月31日までです。対象となるポイントは、店頭端末、支店窓口などでご確認ください。

インフルエンザ対策の記事を読み、風邪を引きやすいので人ごみでのマスク着用を帰ってから手洗い・うがいをしてウイルスを防ぎたいと思います。(T・Aさん)

10月から11月にかけ、各地で農業祭などのイベントが開催されます。生産者と消費者が触れ合うよい機会です。少しでも農業に理解していただくためにもよい企画を期待しています。(Y・Nさん)

ふるさと料理の記事を楽しみにしています。メニューを実際に作り食卓に並べています。これからもどんどん掲載してください!(K・Mさん)

毎月「しまねびより」が届くのが楽しみにしています。秋のイベントカレンダーで今後の予定が把握でき、楽しみが増えました。(T・Yさん)

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。ご紹介させていただきます。



お便り
コーナー

JAしまねくにびき地区本部

秋の 合同

農機・自動車



展示会

2018
11/23(金)・24(土)
9:00▶16:00 9:00▶15:00

開催
場所

農機・自動車センター

島根県松江市西川津町1635-7(JAしまねくにびき地区本部前)

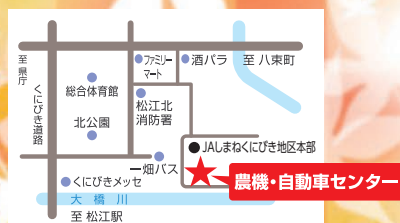
農機センター TEL.0852-55-3066

自動車センター TEL.0852-55-3077

相談会
同時開催



JAで取り扱い始めました!
建て替えに代わるシステム
新築そっくりさん
『一棟まるごとリフォーム』



平成30年分 農業所得申告支援システム のご利用について

- 平成29年度に農業所得申告支援システムをご利用いただいた方11月のふれあい訪問日にてダイレクトメールを送付しておりますので内容をご確認願います。
- 平成30年度から新規ご利用を希望される方(上記以外の方)最寄りの支店・店窓口にて申込み手続きを行ってください。
申込締切 平成31年1月31日(木)

お問い合わせは、
営農企画課 TEL: 0852-55-3030

くにびき地区本部 中途採用職員紹介

☆くにびき地区本部の新しい顔! 中途採用職員をよろしくお願います。
(平成30年11月1日付)



松本 博樹

- 松江市宍道町
- 映画鑑賞
- 今を生きる
- 今年の夏に松江市に引っ越して来たばかりでわからないこともたくさんありますが、早く松江に染まるようにがんばります。
- 農機センター



山田 千尋

- 松江市乃白町
- 映画鑑賞
- ありがとう
- 少しでも早く組合員や職員の方の顔と名前を覚え、皆様の力になれるよう頑張りますのでよろしくお願います。
- 法吉支店



松林 龍己

- 松江市八雲町
- バレーボール
- バレーしたい
- 明るい性格なので誰とでもコミュニケーションをとることができます。組合員の皆様にも気持ちよく利用してもらえようがんばります。
- 玉湯支店

- 居住地区
- 趣味・特技
- 好きな言葉
- 自己PR
- 配属先

12月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
5	水	税務相談会	法吉支店 (TEL: 21-3690) 10:00~12:00
6	木	税務相談会	東出雲支店 (TEL: 52-2022) 10:00~12:00
7	金	税務相談会	中原店 (TEL: 21-2567) 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までにお願います。予約先:開催会場となる支店・店

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※12月の営業日は、8日と15日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

12月 ふれあい訪問日

12月19日(水)・20日(木)



冬の手入れが 翌年の出来を決める アスパラガス

板木技術士事務所 ● 板木利隆

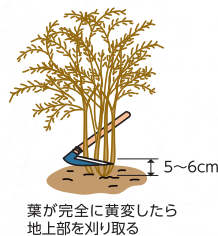
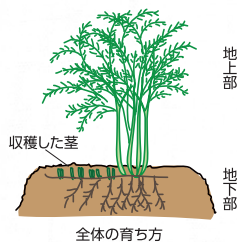
アスパラガスは野菜の中では長命で、一度植えれば数年は収穫が楽しめます。毎年良い収穫物を得るには、冬の適切な手入れが大切です。

若芽の収穫を一定日数で打ち切り、芽を伸ばしたままにすると、葉が開いて丈が伸び、葉の光合成作用が旺盛に行われ、秋になると同化養分が根に蓄えられ、11～12月には株全体が休眠に入ります。霜が3～4回降りると葉の黄化が進み、休眠はいつそう深まってきます。

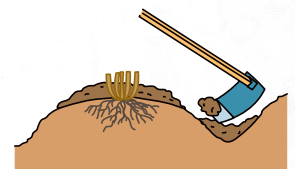
ここから先の手入れで大事なことは、葉が完全に黄変し、休眠が深まっている頃を見計らって、地際から5～6cm上のところで葉を刈り取ります。この枯れ葉には茎枯れ病などの病原菌が付いているので、落ちた枯れ葉と共に畑の外に持ち出し、焼却または廃棄します。この処置が不十分だと、病原菌が茎葉の中で越冬し、翌年の発生源になるからです。できるだけ丁寧にかき集めて処分することが肝心です。

これら病害が発生すると、数年たった大株でも枯死し、大減収になってしまいます。

茎葉をきれいに片付けたなら、まず株元に多くの土寄せをしてい
た場合には、土を畝間に戻します。土寄せが少なかった場合には、そのまま畝間の通路部



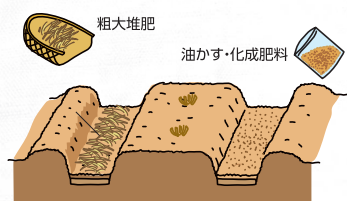
分を中耕しながら、畝の両側に深めの施肥溝を作り、その中に粗大堆肥（発酵度は中程度）と油かす、緩効性の化成肥料を施し、アスパラガスの根株を深く埋めるようにし、畝上に土を大きく上げておきます。こうすることで根株を冬の寒気から守ることができます。寒さが厳しい地域ほど土を大きく盛り上げることが大切です。



畝上に土を大きく盛り上げ防寒する

こうして越冬後の3月ごろ、芽の萌芽（ぼうが）に支障のない程度に土を取り除き（寄せ土戻し）、畝間に土を落とします。このとき春の追肥として、化成肥料や有機配合の肥料などを、1株当たり各大さじ3杯程度を目安に与えておきます。再三土を動かすことにより、地面付近に落ちていた雑草の種子の発芽を抑えられ、翌年の除草の手間が省けます。

栽培年数が長くなり、株元の根系が過密になり、株全体が浮き上がるようになったら、冬の休眠中に株全体を掘り上げ、分割して他の畑に、株間を広げて植え替えることで、再び勢いは回復するでしょう。



畝間の通路部分を中耕しながら施肥

※関東東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JALまね あったか キャンペーン2018

キャンペーン期間 2018. 11.1(水)~12.28(金)

期間中、新規または増額で定期貯金(期間1年以上)を10万円以上ご契約いただいた方へ

どどーんと最大3つの特典プレゼント!!

上乗せ金利の適用があるものを除きます。窓口でお預入れいただいたものに限ります。個人の方に限ります。

さらに 右記のいずれかのお取引がある方には
特典2をプレゼント!
特典3は抽選で1,000名様にプレゼント!

給与振込口座のご指定
年金振込口座のご指定
年金受取のご予約
JAネットバンクのご利用
JAカードへのご入会

特典1 ポケット付きでお買い物に便利。
ベジタブルバッグ



濱文様 X CHORIS

※写真はイメージです。
※品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

特典2 大容量なのに小さく畳めます。普段使いとしてもご利用いただけます。
ポケットブルボストン



kippis[®] SCENI OF SCANDINAVIA X CHORIS

※写真はイメージです。
※品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

特典3 抽選で1,000名様に
島根のとおきスイーツセット

島根県内の特産品を使用したお菓子の詰め合わせ(3,000円相当)です!何が当たるかはお楽しみ♪



JA 自己改革 実証中

※内容は変更になることがあります。

島根のとおきスイーツセット 懸賞要領

対象商品 定期貯金(期間1年以上)
※上乗せ金利の適用があるものを除きます。
※窓口でお預け入れいただいたものに限ります。

応募対象者 期間中、新規または増額で定期貯金をご契約された個人の方。
※下記のいずれかのお取引がある方。または、期間中新たにいずれかのお取引をご契約いただいた方を対象とします。

・給与振込・年金受取・年金予約・JAカード・JAネットバンク

賞品内容 1,000名様に島根のとおきスイーツセット(3,000円相当)プレゼント

応募方法 対象商品ご契約額10万円につき抽選権を1口お付けします。

当選発表 平成31年1月上旬頃、ご当選された方に対し当選通知をお送りします。

抽選権の失効 抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。

個人情報の取扱 取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。

JALまね統合3周年企画旅行

あなたの夢を買ってつく。

FDA 直行チャーター便利用!!

FUJI DREAM AIRLINES

大河ドラマ「西郷どん」ゆかりの「奄美大島」と沖縄人気NO1離島「石垣島」を巡る

石垣島・西表島・竹富島・由布島 4島巡りと

南の楽園 奄美大島 3日間

2泊とも2名様より1部屋ご用意

出雲縁結び空港発着

旅行実施日 平成31年
2月12日(火)~14日(木)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点・税込)

149,800円

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

萩・石見空港発着

旅行実施日 平成31年
2月13日(水)~15日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、萩・石見空港起点・税込)

149,800円

※別途燃油サーチャージ1,950円が必要となります。
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求下さい。

TOUR 株式会社 農協観光

農協観光島根支店 ☎0852-26-2600

JALまね 出雲 旅行センター ☎0853-21-3305

JALまね島根おおち旅行センター ☎0855-83-0008

JALまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699

JALまね 斐川 旅行センター ☎0853-73-9625

JALまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820

JALまね 雲南 旅行センター ☎0854-42-9118

JALまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JALまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

さつまいもと手羽先の甘辛煮



しっかり煮込んだお惣菜。甘辛なので御飯にも合い、お弁当のおかずにもぴったり。ホクホクのさつまいもとシャキシャキのレンコンの食感の違いもおいしく感じられます。

●材料（4人分）

さつまいも……………1本（200g）
手羽先……………8本
れんこん……………100g
いんげん……………5本
サラダ油……………大さじ1

しょうゆ……………大さじ3
砂糖……………大さじ1/2
みりん……………大さじ1
酒……………大さじ1
水……………200cc

●作り方

- ①さつまいもは皮付きのまま大きく乱切りにし、水にさらす。
- ②レンコンは皮をむき1cmの半月切りにする。
- ③いんげんは半分に切る。
- ④鍋にサラダ油を入れ中火にし、手羽先の両面に焼き色をつける。
- ⑤④の中にレンコン、サツマイモを入れ炒める。
- ⑥全体に油が回ったら水、調味料、いんげんを入れ水気がなくなり照りがでるまで煮込む。
- ⑦イタリアンパセリなど彩りを添えて完成。

JALしまね総合ポイントカード

「おさいふカードポイント」

有効期限のお知らせ

平成28年に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限は

平成30年12月31日

となっております。

対象となるポイントは、**店頭端末**、**支店窓口等**にてご確認ください。

ポイントをご確認いただき、お早めにご利用をお願いいたします。



JAL店舗・Aコープなどで使える、お買物券と交換していただけます



カタログ商品と交換していただけます
カタログはJA各支店にご用意しております

ポイントをご確認いただき、早めにご利用をお願いいたします。



JALしまね 総合ポイントカード 全般のお問い合わせ



0120-031-207

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなのみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は出雲市にある立久恵峡の紅葉です。出雲市を流れる神戸川の支流2キロメートルに亘る峡谷で、国の名勝・天然記念物や県立自然公園に指定されています。石柱や断崖がそそり立つその独特の景観から「山陰の耶馬溪」とも呼ばれ、秋の紅葉をはじめ、四季折々に変化する景観は訪れる人を楽しませてくれます。



編集後記

今月の健康散歩では、ウォーキングをご紹介します。私も「何か運動を始めなければマズい」という危機感を持ちつつも、最初の一步が踏み出せずにいます。日が落ちるのも早くなりましたし、肌寒い日も多くなりました…次の春から本気を出すことにして、まずは実りの秋を満喫します。（和）